

科目コード: 0100

科目名 1年 教養科目

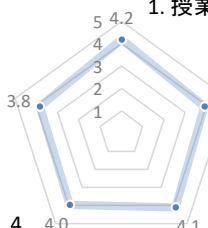
回答者数: 460 名

設問Ⅰ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	197	175	75	5	8	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	159	155	100	31	15	3.9
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	193	159	84	11	13	4.1
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	167	151	106	24	12	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	134	160	132	22	12	3.8
総平均							4.0

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～

この授業を受講したことによって、5.
この分野の学びを深めたいと思った。

質疑や課題に対するフィードバックが
あった。



1. 授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。

2. 授業の説明は判りやすかった。

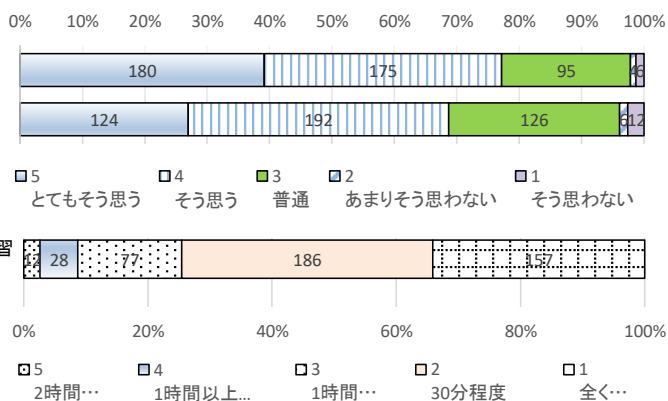
3. 授業に対する教員の熱意を感じた。

設問Ⅱ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	180	175	95	4	6	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	124	192	126	6	12	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	12	28	77	186	157	2.0

2. 学習に対する自己評価について

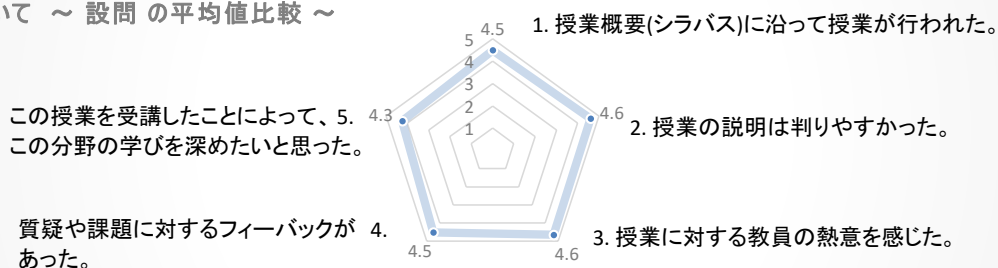
あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。

議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。

この授業一回につき、平均してどのくらい授業外学習
(予習・復習)をしましたか。

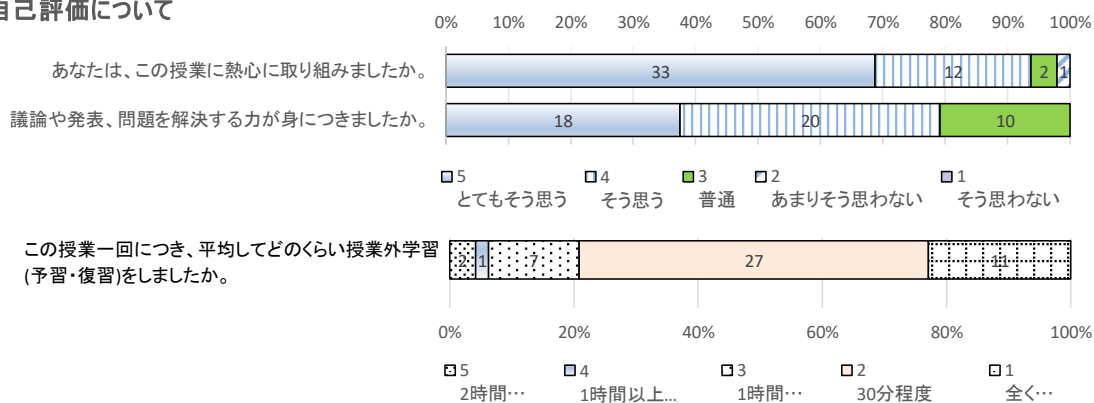
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	29	14	4	1	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	31	15	2	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	33	13	2	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	32	10	5	1	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	22	17	8	1	0	4.3
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	33	12	2	1	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	18	20	10	0	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	1	7	27	11	2.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

本授業は、①「スポーツ各種の基本的なルールを理解して基本動作を修得し、ゲームを実践することができる。」、②「誰とでも良好な人間関係を構築しながら、チームパフォーマンスが高まる方法を考え、実行することができる。」、③「チームスポーツにおけるコミュニケーションについて説明できる。」ことを到達目標として、ボッチャ、体育大会、ボートボール、バレーボール、卓球を行った。総平均は4.5であり、概ね高い評価を得た。学生はクラスメイトと協力して積極的に各スポーツに取り組んでいた。自由記述では、「先生が色々考えてくれたので、みんなで楽しめつつ、勝負を楽しむことも出来てとても良い授業でした」、「ボッチャなど知らなかったスポーツも知れた」、「サッカーしたかった」という意見があった。自由記述の意見を参考にして、次年度の授業内容を検討したい。

②課題と展望(授業改善方策)

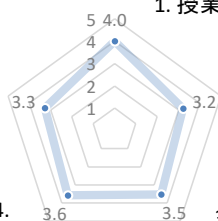
今年度は天候に恵まれ、「熱中症警戒アラート」が発令される猛暑の時期までに屋外の種目を終えることができた。7月より卓球とボッチャを行い、冷房が効いた屋内で授業を行うことができた。また、今年度から新しい試みとして、毎回の授業記録はポートフォリオで提出することにした。そして、ポートフォリオの記述内容について、全員コメントを付して返却した。学生は授業後にチームや自らのパフォーマンスを客観的に振り返ることができ、昨年度よりも授業時間外学習の割合が増えた。今後もこのようなフィードバックを継続し、運動・スポーツの学習の定着を図りたい。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	24	30	11	2	3	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	11	15	28	10	6	3.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	16	22	21	5	6	3.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	16	23	19	9	3	3.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	12	15	28	10	5	3.3
総平均							3.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～

この授業を受講したことによって、5.
この分野の学びを深めたいと思った。

質疑や課題に対するフィードバックが 4.
あった。



1. 授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。

2. 授業の説明は判りやすかった。

3. 授業に対する教員の熱意を感じた。

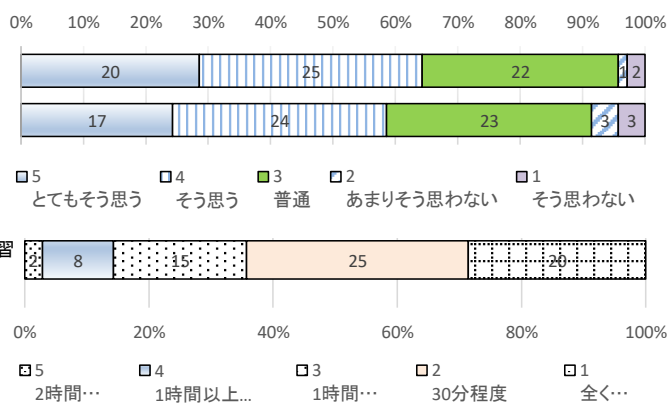
設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	20	25	22	1	2	3.9
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	17	24	23	3	3	3.7
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	8	15	25	20	2.2

2. 学習に対する自己評価について

あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。

議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。

この授業一回につき、平均してどのくらい授業外学習(予習・復習)をしましたか。



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

The students have been educated in a system that does not value hard work. As long as out of date teaching methods are the standard and a culture of excluding foreign people before summarily dismissing them as soon as it's convenient, an introductory English class at a vocational school will have a limited impact.

②課題と展望(授業改善方策)

I will consider a variety of ways to improve my teaching methods for my classes next year, wherever that will be.

科目コード: 0103

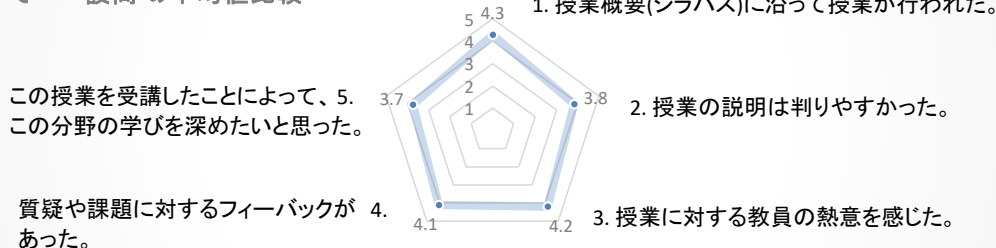
科目名 英語 I A

回答者数: 50 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 演習 担当者 ロス マシュー デビッド ケシー

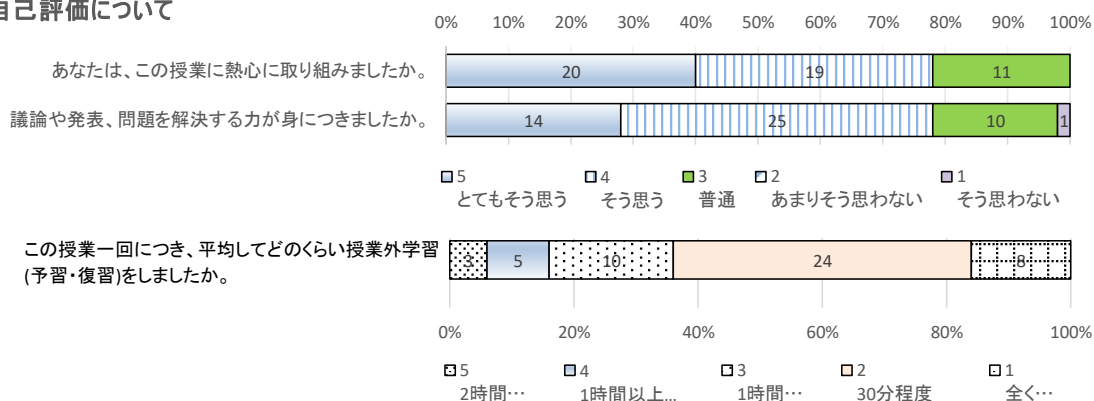
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	22	21	6	1	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	11	25	10	3	1	3.8
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	21	21	6	1	1	4.2
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	18	22	8	1	1	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	9	22	16	3	0	3.7
総平均							4.0

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	20	19	11	0	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	14	25	10	0	1	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	5	10	24	8	2.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

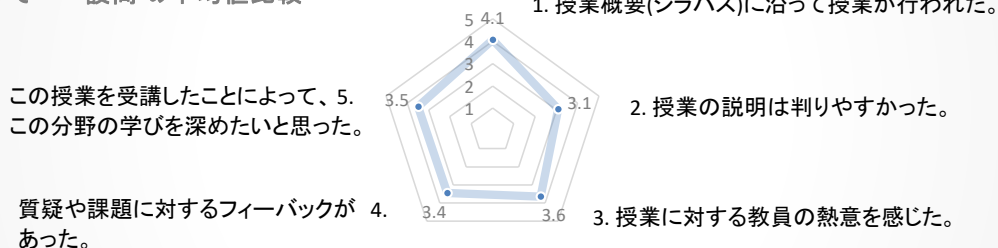
The students have been educated in a system that does not value hard work. As long as out of date teaching methods are the standard and a culture of excluding foreign people before summarily dismissing them as soon as it's convenient, an introductory English class at a vocational school will have a limited impact.

②課題と展望(授業改善方策)

I will consider a variety of ways to improve my teaching methods for my classes next year, wherever that will be.

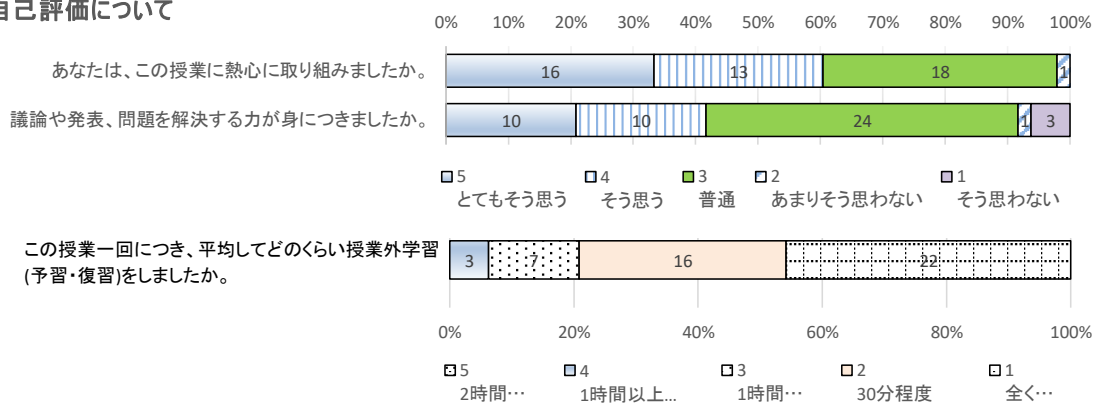
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	17	18	12	1	0	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	7	10	15	12	4	3.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	13	11	20	2	2	3.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	11	10	18	7	2	3.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	12	8	22	4	2	3.5
総平均							3.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	16	13	18	1	0	3.9
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	10	10	24	1	3	3.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	3	7	16	22	1.8

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

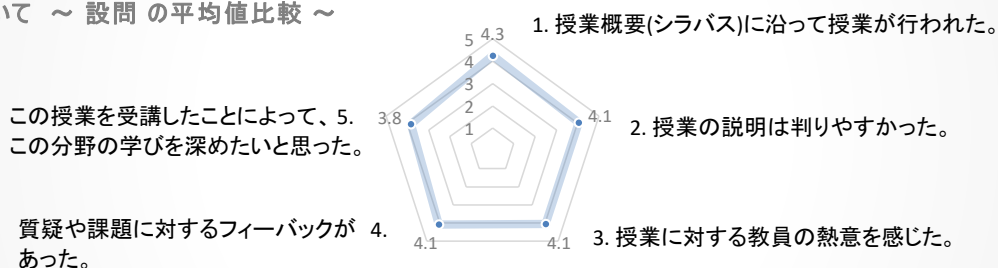
設問1では(1)の「授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた」が平均4.1ポイントでもっとも評価が高かった。次に高かったのが、(3)で3.6ポイントであった。総平均が3.5で昨年と比べると、0.6ポイント下がった。いずれの項目も0.5ポイント前後下がっており学生の評価は低くなった。この科目ではMicrosoft365に含まれるWord, Excel, PowerPointを中心としているが、これに加えて情報処理ハンドブックを利用して情報セキュリティの知識を身に付けることを目標としている。また授業で使用しているweb教材は授業外での利用も可能であり、PCを苦手と感じている学生にとっても有効であると考えているが、どの項目も下がったことを見ると今年の学生にとっては内容が多すぎたのかもしれない。

②課題と展望(授業改善方策)

昨年と比較すると全体的に低い評価であった。ただ、設問II(3)の授業時間外での学習時間についてを見るとまったく授業外学習をしていない学生が22名で、これは昨年と同じ数字であるが、1時間以上の授業外学習をした学生は10名に増えており、昨年の5名より倍増したのは、ことあるごとに予習復習について触れたことの効果がでたと思う。次年度に向けては内容の精査をおこない、ポイントを絞り込んだものとしたい。

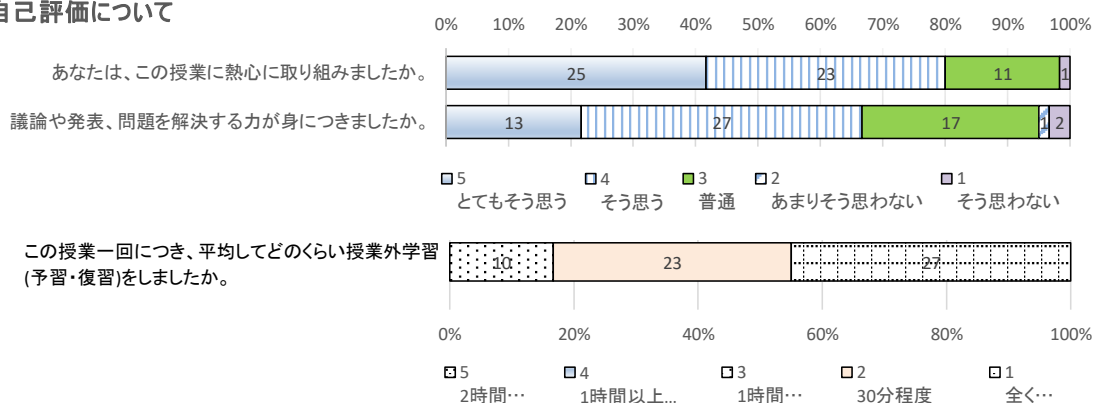
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	29	19	11	0	1	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	22	23	12	2	1	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	21	24	13	1	1	4.1
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	23	21	15	0	1	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	15	25	17	1	2	3.8
総平均							4.1

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	25	23	11	0	1	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	13	27	17	1	2	3.8
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	0	10	23	27	1.7

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

設問 I の(5)および設問 II の(1)の平均値は、いずれも例年と比較して高く、この分野に対する学生の興味・関心が高まってきていることがうかがえる。しかし、両設問の数値には0.4ポイントの差が見られ、授業に熱心に取り組んだという評価に対して、「この分野の学びをさらに深めたい」とする意欲との間に乖離がある状況である。

②課題と展望(授業改善方策)

このような現状から、課題提出形式が中心の授業において、学生が「熱心に取り組まなければ(提出に間に合わない)」という義務感を抱いていることが推察される。そのため、課題に取り組む過程で、「この分野をもっと学びたい」と感じられるような仕掛けが必要であると考えられる。

具体的には、現在の課題内容を、大学での学びにとどまらず、卒業後の実務にもつながると実感できるようなものに改善することが望ましい。たとえば、課題の文言や数値を、より健康栄養分野の実務に近い内容へと見直すことや、実際の現場で思考力・判断力が求められるような状況を想定したシミュレーション形式の課題に変更することなどが挙げられる。

科目コード: 0106

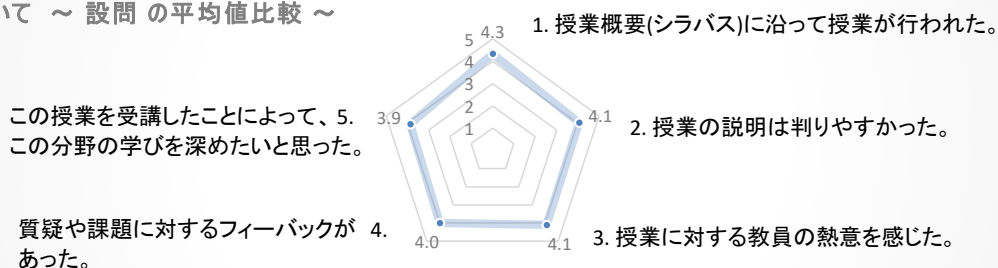
科目名 日本語と表現

回答者数: 31 名

学科・学年: 1年生 授業形態: 講義 担当者 吉野寿一

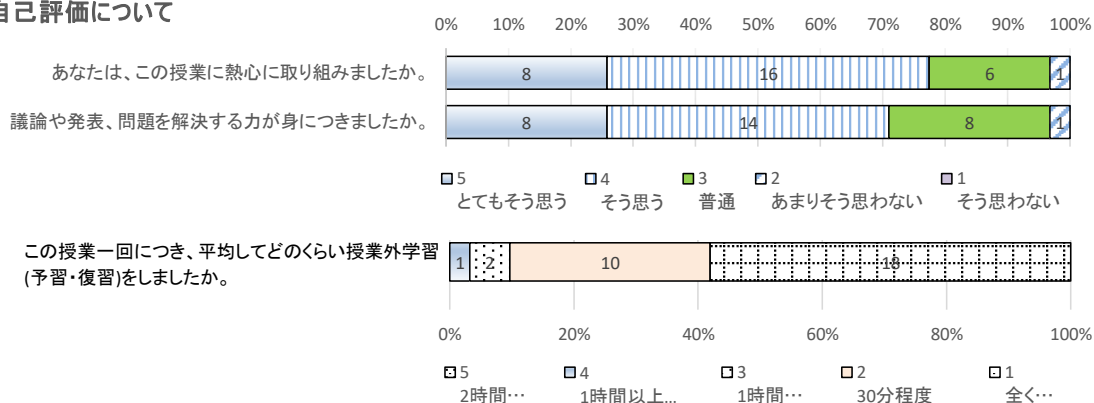
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	14	13	4	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	9	17	3	2	0	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	11	14	4	2	0	4.1
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	8	16	6	1	0	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	8	13	8	2	0	3.9
総平均							4.1

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	8	16	6	1	0	4.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	8	14	8	1	0	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	1	2	10	18	1.5

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

シラバスを基に講義を展開していることが十分に学生に伝わったことをうれしく思う。今後も、計画的に講義を行い、学生に日本語の表現技術が定着するように努めたい。また、日本語表現の面白さを今以上に伝え、今後の学生の表現力向上に寄与していきたい。

②課題と展望(授業改善方策)

シラバスを通じて、また、講義の中でも学習に対しての見通しを伝えてきてはいるものの、予習復習にかかる時間が少ない。学生も様々な活動で忙しいことは分かる。そのことを考慮して、学習内容を絞り、繰り返し伝えてきた。それが功を奏したかの検証は難しいが、定期試験の結果からみると、身に付けてほしい事柄の定着の向上が図られてきている。が、一方ではそれが不十分な学生も少なからずいる。現状を捉え、定着を図るための仕掛けをさらに工夫していく必要を感じる。講義メモを定期的に回収、学習内容の定着状況の確認などを学生にとって無理のない範囲で実行していきたい。

科目コード: 0107

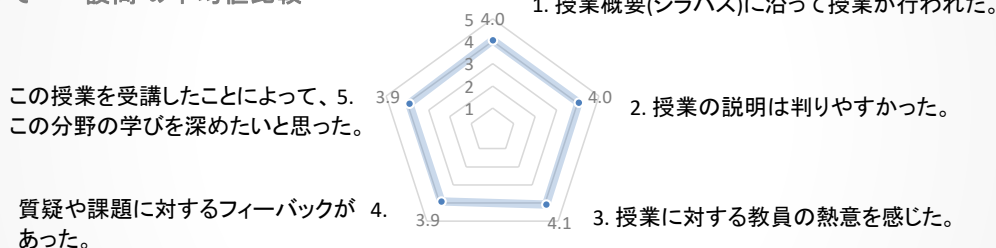
科目名 健康と栄養

回答者数: 24 名

学科・学年: 1年生 授業形態: 講義 担当者 清田有里子

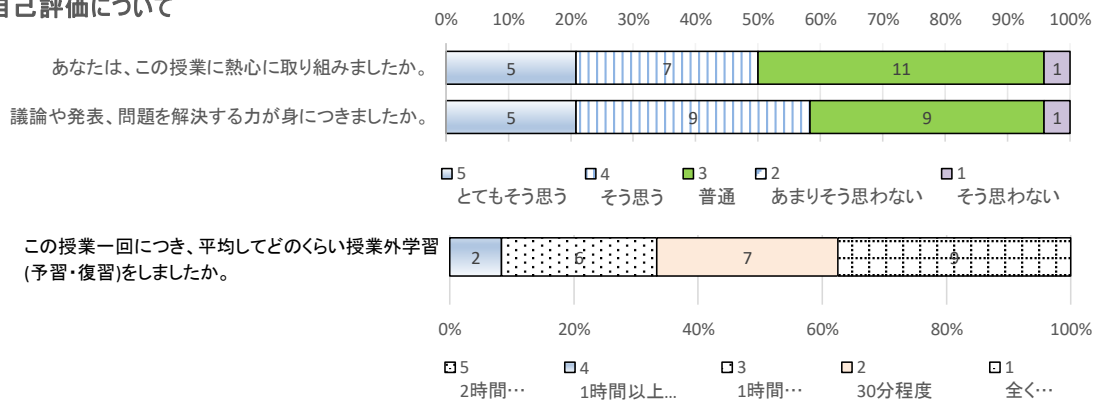
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	7	13	3	0	1	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	9	9	5	0	1	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	9	10	4	0	1	4.1
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	9	6	8	0	1	3.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	7	10	6	0	1	3.9
総平均							4.0

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	5	7	11	0	1	3.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	5	9	9	0	1	3.7
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	2	6	7	9	2.0

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

健康栄養学科、幼児保育学科1学年の学生対象の授業であり、特にテキストはなく資料を使用し授業を行った。

8回の授業の内容を見直し、興味の持てるものに切り替えていく。また、時間外学習の時間を延ばしていけるように学習内容を検討していく。

②課題と展望(授業改善方策)

実践を授業内に取り入れて、授業外学習の時間を増やすように検討していく。

科目コード: 0108

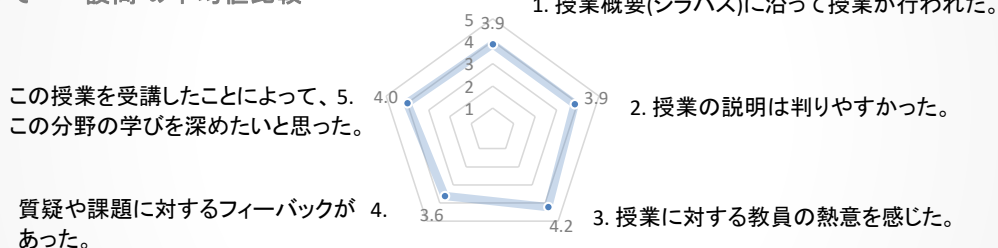
科目名 子どもと発達

回答者数: 66 名

学科・学年: 1年生 授業形態: 講義 担当者 中村敏男(他)

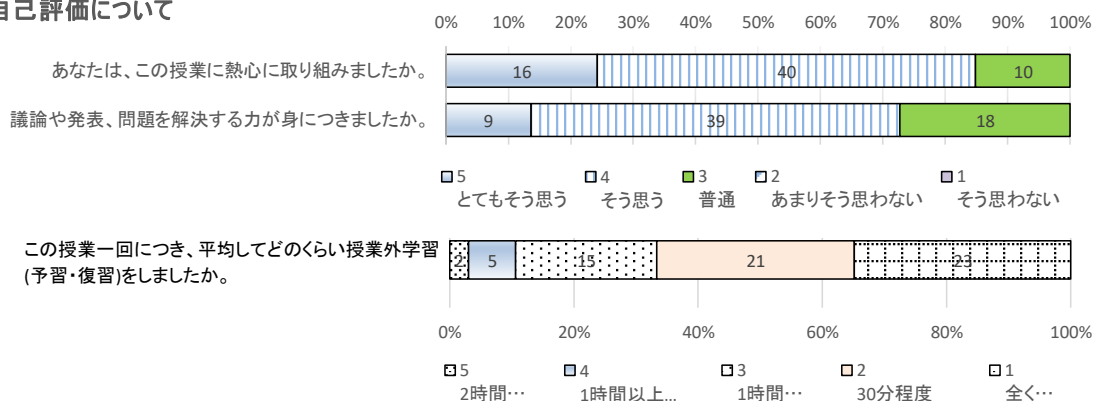
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	13	31	22	0	0	3.9
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	17	25	22	2	0	3.9
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	25	31	10	0	0	4.2
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	11	28	20	5	2	3.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	18	32	15	1	0	4.0
総平均							3.9

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	16	40	10	0	0	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	9	39	18	0	0	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業外学習(予習・復習)をしましたか。	2	5	15	21	23	2.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

学科全体の平均値に比べて、特にフィードバックなどに関する項目を中心に数値の低さが目立ったようだ。4人の授業者がそれぞれの専門分野から、「子どもの発達に関する問題」について2回ずつ授業を展開するという科目の特性による部分もあるようだ。授業者間の一層の情報共有が必要であると感じる。

②課題と展望(授業改善方策)

4人の授業者の専門性・特性を生かしつつ、特に授業外学習の課題の内容や提示の仕方等について、共通理解を図る。

科目コード: 0109

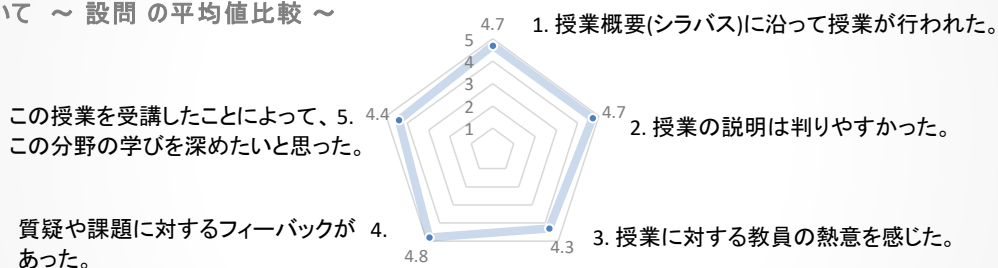
科目名 ボランティア論

回答者数: 10 名

学科・学年: 1年生 授業形態: 講義 担当者 安食邦明

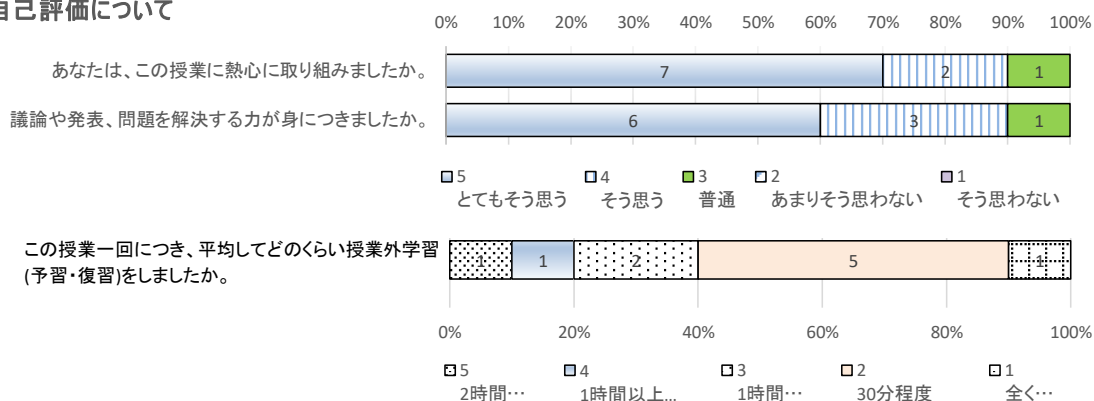
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	7	3	0	0	0	4.7
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	7	3	0	0	0	4.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	4	5	1	0	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	8	2	0	0	0	4.8
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	7	0	3	0	0	4.4
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	7	2	1	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	6	3	1	0	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	1	2	5	1	2.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

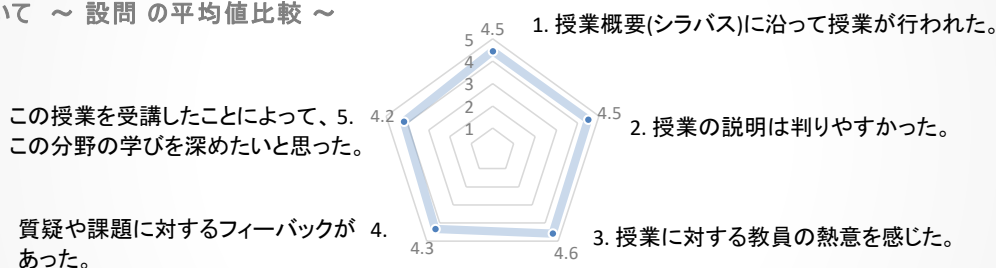
「とてもそう思う」「そう思う」という肯定的評価が非常に多い。学生が意欲的に取り組んでいて良かったと思う。

②課題と展望(授業改善方策)

課題のフィードバックが適切にできた。ただし、講義形式になりがちだったので、グループワークや討議等をこれまで以上に取り入れて、学生がさらに主体的に取り組む理解度を向上させるように工夫したい。

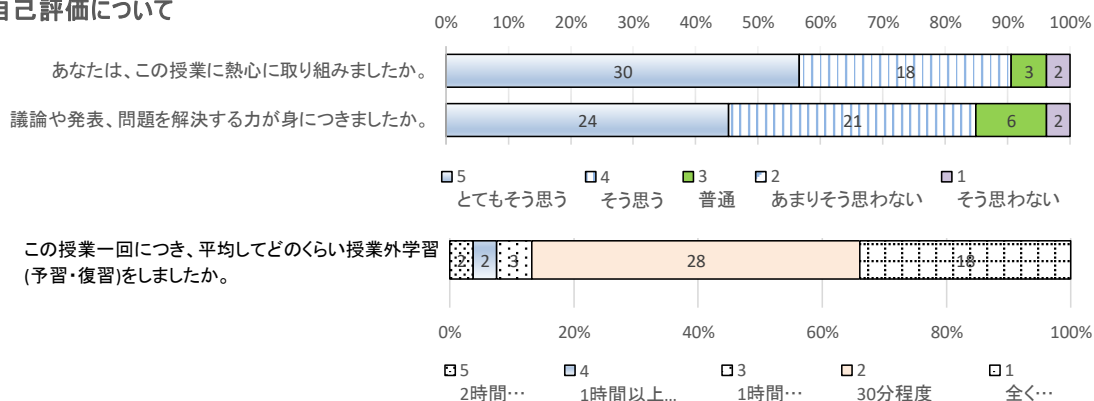
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	35	13	2	0	3	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	35	13	3	0	2	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	40	8	3	0	2	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	31	13	7	0	2	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	24	18	9	0	2	4.2
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	30	18	3	0	2	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	24	21	6	0	2	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	2	3	28	18	1.9

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

過去4年間のアンケート結果とほぼ同様の傾向を示している。
 令和4年度を受講者数は41人、5年度が27人、6年度が15人。本年度は最も多い53人が受講した。
 総平均は4年度が4.5、5年度が4.6、6年度が4.6であり、本年度は4.4で最も低かった。
 受講者数の少ない年度の方が高い傾向にある。今後、受講者数の適正人数についても検討していく必要があるのかもしれない。

②課題と展望(授業改善方針)

本年度の結果で最も課題と考えられるのが、平均値が相対的に低かった「(5) この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った」である。
 このアンケートとは別に、毎回の授業後に「授業内容の満足度」を5段階で調査しているが、どの回も4.7～4.8と高い結果だった。
 このことから授業内容に満足しているが、「さらに学びを深めたい」という意欲面への育成が相対的に弱かったと考えられる。
 今後の授業では、授業内容やキーワードを起点にして、学生が日常生活の中の自然事象に目を向け、科学的な疑問をもち、自主的・自発的に学習に取り組むよう働きかけを工夫していきたい。

科目コード: 0200

科目名 2年 教養科目

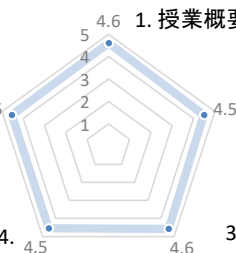
回答者数: 56 名

設問Ⅰ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	38	14	4	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	33	18	4	1	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	35	18	3	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	33	20	3	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	38	11	6	1	0	4.5
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～

この授業を受講したことによって、5. 4.5. この分野の学びを深めたいと思った。

質疑や課題に対するフィードバックが 4. 4.5. あった。



1. 授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。

2. 授業の説明は判りやすかった。

3. 授業に対する教員の熱意を感じた。

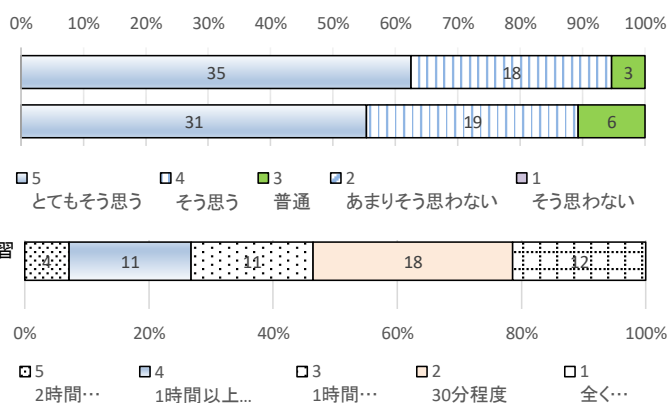
設問Ⅱ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	35	18	3	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	31	19	6	0	0	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	4	11	11	18	12	2.6

2. 学習に対する自己評価について

あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。

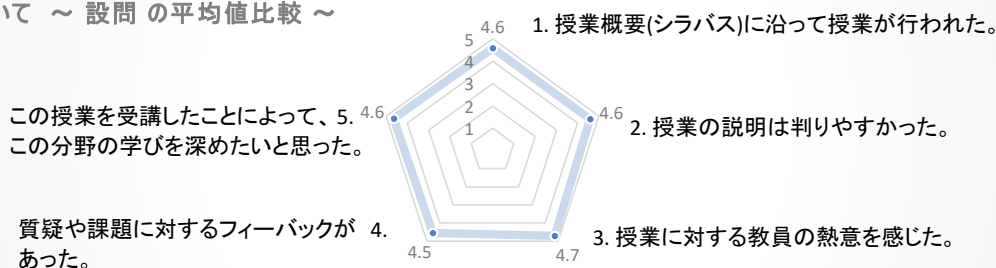
議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。

この授業一回につき、平均してどのくらい授業外学習(予習・復習)をしましたか。



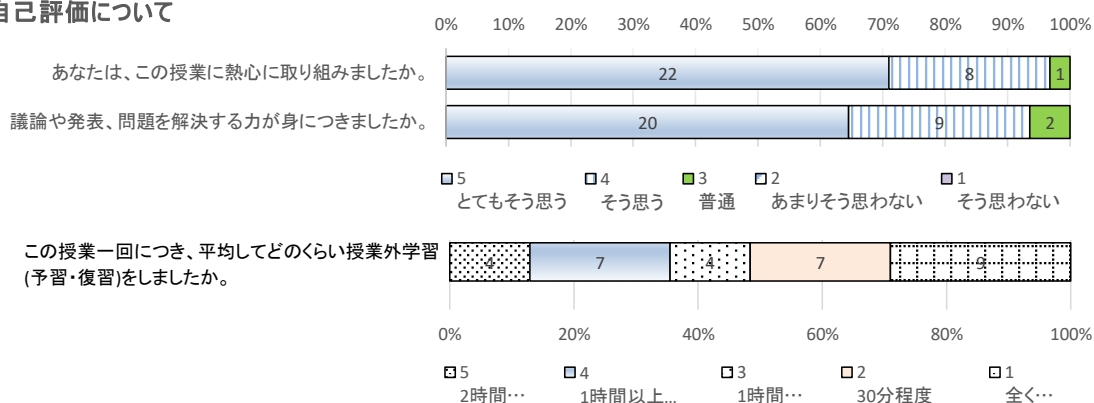
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	20	9	2	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	19	11	1	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	23	7	1	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	19	10	2	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	22	7	2	0	0	4.6
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	22	8	1	0	0	4.7
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	20	9	2	0	0	4.6
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	4	7	4	7	9	2.7

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

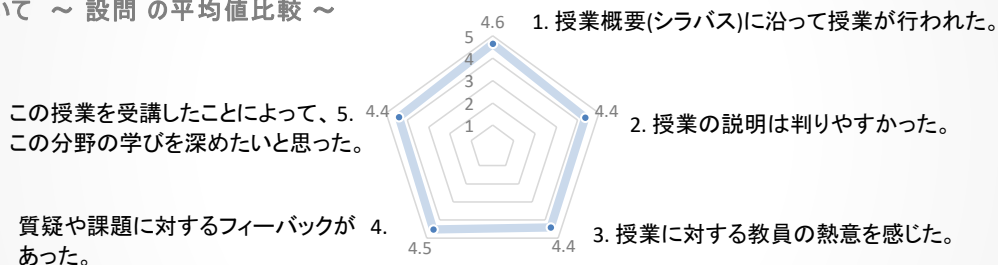
①現状(アンケート結果に対する考察)オーストラリア・仙台・横浜の3か所の研修コース、全10コマ開催とし、授業運営は、各担当(引率)教員に任せる形となった。履修者数合計36名。内訳は、オーストラリア9名・仙台19名・横浜8名であった。履修者数の差はあったものの、全体を通しての評価は、総平均が4.6と、非常に高かったと感じている。また、これに関連して、「授業に対する教員の熱意を感じた」では、総平均が4.7と、高い評価を受けていることや、自由記述などでも「英語に触れる時間がとても多くあり、自分の中でなにか価値観が変わったと感じました。この経験を糧に、文化の違いや海外の人の素敵などを広めていきたいです」などの満足度を示す記述があり、総合的に学生の満足度は高いように思う。この要因は、各コースにおいて授業時間以外でも、準備等に多くの時間を設け、その分、教員と関わる時間や機会が多かったことで、教員と学生との信頼関係が構築され、その結果、相談などしやすい環境が作られ、出発当日までのメンタル面でのサポートなども、しっかり対応できたことが大きく影響しているのではないかと考えている。

②課題と展望(授業改善方策)

1. 成果報告会においては、学生主体の発表会、及び、「ナラティブ・プレゼンテーション」を意識した発表ができるよう学生指導を行う。
2. 研修地を増やすことも視野に入れる。特に海外。
3. アンケート86.1%と、低い回答率であった。次年度は100%の回答率を目指す。

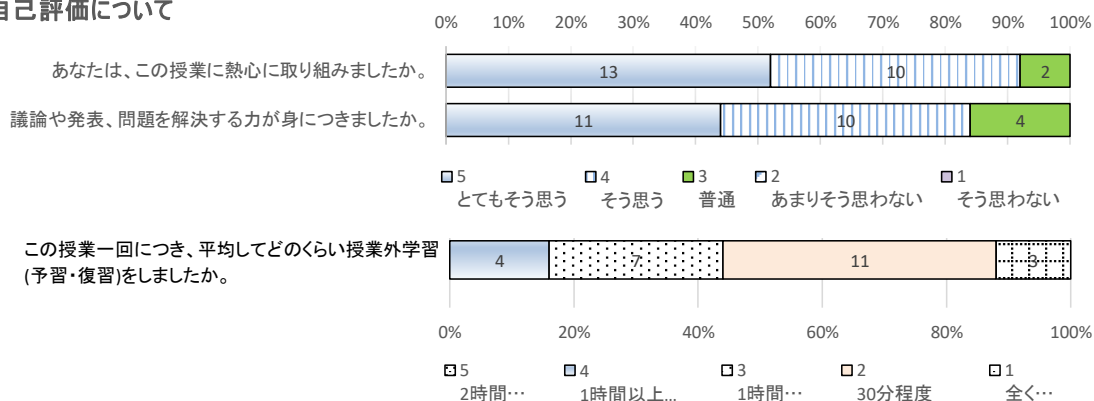
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	18	5	2	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	14	7	3	1	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	12	11	2	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	14	10	1	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	16	4	4	1	0	4.4
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	13	10	2	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	11	10	4	0	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	4	7	11	3	2.5

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

「とてもそう思う」「そう思う」という肯定的評価が多い。学生が意欲的に取り組んで良かったと思う。

②課題と展望(授業改善方策)

課題のフィードバックは適切にできた。学生が調べた情報をプリントにまとめて紹介した。分野によっては多少難しい部分があったので、学生の理解度を確認しながら進めたい。グループワークや討議等をさらに取り入れて理解力・表現力の向上に努めたい。